



セッション2 (並行セッション)

経済社会的価値の創出へ向けたサイエンスの資本化 —プレイヤーの役割

チェアパーソン： 黒田 昌裕 経済社会総合研究所所長

セッション2では、科学・技術知識が各国の異なった市場、そしてグローバルな国際市場の中で、資本化され、ビジネス活動を創出に結びつく条件を明らかにすることが中心的課題である。またそれに加えて、グローバルな社会において、イノベーションを活性化させ、人類の持続的な発展を遂げるために、参加各国が、FTAやEPAなどの国際的枠組みのなかで協働し、競争しあえる条件を探ることも議論の目的である。こうしたシステムの構築には、自然科学者・技術者の科学・技術の深化ばかりではなく、科学政策における人文社会学者の役割もまた重要であると考えられる。

セッションでの議論は、当面以下の4つの視点に分かれると考えている。

- 1) グローバル社会における発展を維持するために、社会のイノベーション活動を活性化させることは不可欠である。議論は、まず、各パネリストから、科学・技術の資本化に際する各国の現状を紹介し、その特性を明らかにして頂くことから始めたい。ベンチャーキャピタルや起業家が直面する資本調達市場の特性や市場での規制の状態などについて、各国の特性への理解をパネリストそれぞれの共通認識としてもつことがまず重要であると考えからである。
- 2) 起業家を鼓舞し、新しいビジネスを創出するために、補助金政策、税制、政府資金の提供などいかなる政策手段が効果的かつ効率的であるか？何が産業・大学の協働を促進するインセンティブとなりえるか？グローバル社会において、如何にして公共財としての科学・技術知識を促進し、更なる進化のために科学者を鼓舞するために、如何にして知的財産をマネージすべきであろうか？
- 3) 第3の議論の課題は、投資家や起業家のフェアな競争を喚起するために、どのような市場を設計すべきであろうか？市場における競争のルールを設定し、リスク配分やリスク分散の多様化のための安全装置（Safety-net）をどのように設計するか？そしてまた、科学者、経営者、投資家、起業家が情報を交換し、協働して行動できる交流の場（Interactive Field）を創造することはきわめて重要である。そうした市場、そして場を誰が責任をもって創出するのか？グローバル社会において、FTAやEPAなどの国際的協調の枠組がイノベーションの創出に役割を果たすことができるだろうか？
- 4) たとえグローバルな協働の場を創出できたとしても、そのシステムはきわめて複雑で、流動的なものであろう。現実のグローバルな社会構造が如何に変化しているかを把握し、その将来方向を見極めるためには、社会の連続的な観測が不可欠である。経常的な観測の蓄積がなければ、グローバルな変化に対応することはできない。したがって、イノベーションシステムの動向を常にモニターし、評価する方法の構築も欠かせない、それへの課題も議論したい。